

## 一連の報道について

皆様には、日頃から私の政治活動にご理解を賜り、ご支援頂いておりますこと心から御礼申し上げます。

テレビや SNS 等で見聞きされているとは思いますが、県議会における一連の問題について、まずもって、このような状況になっていることを県議会議員の一人として大変申し訳なく思っています。

福岡県議会において正副議長の就任にあたって金銭の授受が行われていたのではないかという報道がなされています。万が一このような事があったとするならば、民主主義の根幹を揺るがす大変な事態であると思います。その中で私が金銭授受に関わっているのですかと聞かれますが、私自身まだ正副議長の声がかかるような立場や期数ではありませんし、そもそも金銭を払って役職を買うことなど考えられません。これまでに農林水産委員長や政策審議会会長、自民党県議団副会長などの役職を経験させていただきましたが、その際にも金銭の要求などは一度もありませんでした。議長の席というものは当選してからずっと同期の中で切磋琢磨して頑張ってきた人が座ることができるのであって、お金を払ったからと言って座れるものではありません。

福岡県議会そして自民党県議団の信用は完全に失墜しています。その信用を取り戻すのは容易ではありませんが、何とかしなければならないとの思いから一期生から三期生 19 人が集まり、今後の自民党県議団のあるべき姿を考え、一致団結して行動し

ていこうという会を開くことができました。それが発端となり若い期から自民党県議団の会長を誕生させようという気運が醸成され、8月10日に行われた県議団の会長選挙に私の同期（3期）である渡辺勝将県議（那珂川市）を会長に選出いたしました。渡辺会長をしっかりと支え会派内の役員を刷新し、新しい自民党県議団で議会改革をして参ります。

8月17日の臨時議会におきましては、議長に対する辞職勧告決議案が提出されましたが我が会派からの動議により採決を中止する事となりました。

その理由は

- ① 高額な海外視察費の問題についても福岡県により第三者委員会で調査し始めたばかりで事実の解明はされていない。
- ② 金銭授受に関しても同様に8月17日の議会の中で、第三者委員会設置の可決をしたばかりで何も始まっておらず、提案者自らも議長職を金銭で買ったと言っている渦中の人である。

上記のような状況で議長職を辞職勧告するのは時期尚早であります。また、本会議の前の会派総会において藏内議長が議長職を辞任する旨の発言があり、これにより議員辞職を勧告する必要もなくなりましたので、動議に賛成しました。決議案の提案者は議長が怖いから動議に賛成したとおっしゃっていますが、決してそのような事ではありません。

金銭の授受があったと言う側と、なかったと言う側がいる現状で、私に真実はわかりませんが、私は、「辞職するべきか」より先に「何が事実なのかを徹底的に調査する」という順序が非常に大切だと思っています。そしてまだ何も解明されていない段階で、一方的に「辞職せよ」とするのであればそれは非常に危うい一面があります。疑惑をもたれた政治家を、事実認定なしに政治的圧力で辞めさせることが許されるのでしょうか。議長には選挙で選ばれたという非常に強い民主的正当性があります。その地位を奪うのであれば、なおさら慎重な事実認定が必要です。

私は、これから始まる第三者委員会による聞き取り調査に全面的に協力し、実態解明に向けて取り組んでまいります。事実が分かってから判断する事は、誰かを守るための考え方ではなく、県民に対して公正な判断をするための、最も基本的な姿勢ではないかと思います。したがって、先日県議会で設置した第三者委員会の調査結果がいかなる場合であってもその決定を重視し、事実が認定されれば、厳正なる処分を行っていかなくてはならないと考えています。金銭授受の問題だけではなく高額な海外視察の問題、ワンヘルスの問題、議会改革など多くの問題が山積しています。その問題について、スピード感をもって解決に向けた対応を進め、県民の皆様からの信頼を一日も早く回復できるよう、誠実かつ真摯に取り組んでいく所存であります。

今後とも皆さまのご支援ご協力を賜りますようよろしくお願いします。

令和8年8月31日

福岡県議会議員

浦 伊三夫